

発明工作教室

小学生向け

次代を担う子供達に、発明くふうする楽しさやものづくりへの関心を高めてもらうことを目的に、小学生向け発明工作教室を**出前授業**で開催します。



対象児童 **1～6年生**

費用
無料

実施期間

令和4年7月～令和5年2月頃まで 土・日・祝も開催します!

実施可能人数

30名程度(原則10名以上での実施となります。)

費用

材料代、講師謝金等は一切不要です。

授業形態

教室開催時間は、1回1時間30分～2時間程度とします。開催時間帯は原則として9:00～16:00とします。学年別・クラス単位・クラブ・団体単位等で開催します。PTA行事等での開催も可能です。

教室内容

発明の話・実験(30分程度)及び工作教室(1時間～1時間30分程度)

実施内容の関係で最低1時間30分は必要です。希望メニューに応じて講師を派遣します。

※メニューにより、実施可能学年が違いますので、裏面のメニュー毎の対象学年範囲をご確認のうえ、お申込みください。
なお、低学年(1・2年生)が参加される場合は、保護者及び先生方のサポートをお願いします。

準備物

学校等……………講師用机(長机等)、事務用品等、プロジェクター・スクリーン(メニューによる)
児童のみなさん…筆記用具、文房具等

主催

一般社団法人香川県発明協会、公益財団法人大西・アオイ記念財団

お申込み

このチラシに添付の申込書に必要事項を記入のうえ、当協会までFAX又はメールでお申込みください。一般社団法人香川県発明協会のホームページの予約フォームからもお申し込みできます。

開催については、予算の範囲内で先着順とさせていただきます。

また、実施日等については調整させていただく場合がありますのでご了承ください。

〒761-0301 高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F

一般社団法人香川県発明協会 担当:黒田・岡

理科や工作の授業、
参観日などの1コマに!

学校の先生や
団体からお申し込み
ください

発明工作



混合や加温による反応や変化を利用した工作

1 ドライアイス実験教室 「ドライアイスでプチロケット飛ばそう」

※3~6年生対象
※体育館等天井が高い場所が必要

ドライアイスはどのようなもので出来ているのか、どのような特性があるのか、どのような場合に使用すればいいのかを実験をととして学びます。

工作教室では、フィルムケースでプチロケットを作り、ドライアイスで発射実験をします。

2 カイロの不思議 「ホカホカカイロを作ってみよう」

鉄は燃えるのか、冬の寒い時期に使用するホカホカカイロはなぜ温くなるのか、その秘密を学習しながらカイロを作ります。

3 プラスチックの不思議 「オリジナルプラ板ペンダント」

プラスチック発明の歴史、プラスチックの種類・性質について学びます。その後、絵などを描いたいろいろな形のポリスチレンシートを、オーブントースターに入れ加熱し、シートが柔らかくなり収縮した頃合いを見て取り出し、本などに挟んで冷却した後でモールなどの紐をつけて作ります。

4 人工イクラで ディスプレイをつくろう

水によく溶ける昆布(こんぶ)のネバネバ成分のアルギン酸ナトリウムと苦汁(にがり)に含まれる塩化カルシウムが反応して水に溶けないものに変化する原理を応用し、人工イクラを作ります。絵の具で色をつけた液を使うとカラフルな人工イクラができます。水の入ったペットボトルに入れるとゆっくり沈みます。ディスプレイとして見て楽しむことができます。

5 スライムで遊ぼう

スライムは、触った感触がニルニル、プリプリとし不思議なものです。調合を変えることにより、ベタベタの柔らかいものから、弾む硬さのものまで作れます。延ばしたり、丸めたり、膨らませたり、弾ませて遊ぶことができます。いろいろな色をつけることもできます。

6 仲良しの電気と磁石 「かんたんモーターを作ってクルクル回して遊ぼう」

※3~6年生対象

電気と磁石(磁気)はいつも仲良し。電気を電線に流すと磁石になり、磁石の近くで電線を動かすと電気が生まれます。工作で使うエナメル線をクルクル巻いてコイルを作り、磁石の近くで電池につなぐと、コイルがクルクル回る「かんたんモーター」が出来上がります。身近な材料で、電気と磁石の仲よし関係を体験してみよう。

7 たわし虫ってどんな虫?

※高学年(4~6年生)対象
※実施推奨場所:小学校(相談可)

市販のモーターを使って振動モーターを作り、たわしに取り付けた簡単なロボットの工作です。モーターのスイッチを入れると、なんと!たわしが動き出します。たわしの動きは、モーターの取り付け位置によっていろいろ変えることができるかもしれません。

8 ヒラヒラ蝶を作ろう

磁石の吸着と反発する作用を利用したものです。画用紙に蝶の絵を描き、羽の裏にシート磁石を付けます。そして、台紙の下のシート磁石を動かすと羽がひらひらと羽ばたきます。



電池や磁石を使った工作

教室メニュー



光の反射を利用した工作

9 ファンタジック ミラーボックス

2枚の鏡を使い四角い箱の対面になるように置きます。すると、鏡は互いに平行となり、鏡の片面の中央ののぞき穴から箱の中を見ると箱の横の面や、底に描かれた絵が、反射を繰り返すことで遠くの方まで続いているように見えます。箱の中の絵を工夫したり、中に折鶴などの物を入れたりして、自分だけの幻想的なミラーボックスを作ります。

10 万華鏡の不思議な世界

物が鏡に映ることはよく知られていますが、2枚の鏡を使うと鏡の角度により映る像の数が増えます。3枚の鏡を三角に組み合わせると像の数は数えきれないほどになります。万華鏡は、その原理を応用したもので、中に入れたオブジェクト(具)が織りなす幻想的な模様は、実に様々で美しく、楽しいです。

工作には、ミラー、工作用紙、フィルムケースか乳酸菌飲料容器、オブジェクトにはビーズ、透明な色つきプラスチック片など身近な材料を使って作ります。中に入れるオブジェクトを変えると見えるものも変えることができます。

11 身近にある材料を 使って作る万華鏡

一般に、万華鏡は、鏡や反射板を使って作りますが、この万華鏡は、黒い紙(色紙)、透明プラスチック板(弁当箱の蓋)と紙筒(ラップの芯)等、誰でも手に入る材料を作って作ります。なぜ黒い紙と透明プラスチック板で鏡の代わりにできるのかを考えます。

空気的作用や風のかで動く工作

12 空気砲で遊ぼう

テレビの科学遊びの放映でなじみになったもので、空気を狭いところから一気に吹き出させると、空気のかたまりが意外と遠くまで飛ぶことや大きな力があること、また、空気が渦を巻いて飛んでいくことなど感動ものです。ペットボトルとゴム風船でつくることもできます。

13 え!ハガキって飛ぶの?

※高学年(4~6年生対象)
※※広い場所が必要

植物の種や、ムササビ等の動物が空中を飛ぶことができます。厚紙をハサミで長方形、三角形、アルストミラの種を模した形状に切り、これらをできるだけ長時間、遠くへ飛ばすことに挑戦し、なぜハガキが飛ぶのかを考えます。

14 身近にある材料を 使って作るグライダー

※高学年(4~6年生対象)
※※広い場所が必要

葉の先に重りを取り付けて放すと滑空します。このことを利用して、牛乳パックを使った飛行機を作るのですが、飛行機作りに必要な基本条件と寸法を数点知ることにより、自分でも飛行機的设计ができるので、自分で設計した飛行機作りの基礎を学習してみませんか。

考える工作

15 動くおもちゃのしくみを 調べてみよう

「おもちゃ分解組立体験」

おもちゃの組み立てと動くしくみを学び体験します。最初に工具の使い方を説明して、おもちゃを分解してみます。次にねじのしくみ、ゼンマイのしくみを学びます。最後に再び組み立ててみて、おもちゃが動くことを確認します。

16 紙だけで作る 自分達だけの高い塔を 作ってみよう

4~6人の小グループを作り、アイデアを出し合い、紙とハサミのみで(接着剤や接着道具を一切使わず)、筒状に丸める、L字に曲げる、切り込む、差し込む、挟み込む、重ねる、折り込む、はめ込む等の方法により出来るだけ「高く丈夫な紙の塔」作りに挑戦します。

17 飛行機はなぜ飛ぶの 「スカイスクリューで 飛行実験」

※3~6年生対象
※※体育館等天井が高い場所が必要

飛行機がなぜ飛ぶのかを空気の流れて実験し、飛行機が浮き上がる理由を考えます。工作では、三角翼のプロペラ飛行機「スカイスクリュー」を製作し、体育館等で飛行実験を行い、飛行機のメカニズムを学習します。

18 ゴムは力持ち 「ゴム動力レーシングカー」

※3~6年生対象
※※広い場所が必要

ゴムの歴史、種類、性質などを学び、最も特徴的な性質であるゴム弾性の実験をします。レーシングカーは、ゴムを動力として床をすべるように走る紙製です。ボール紙、割り箸、クリップとセロテープ、両面テープなどの材料を使い、形は自由に創作します。体育館などで走行試験をしながら完成させます。

19 身近な材料で作る ストローロケット

ストロー、洗濯ばさみ、スーパーボールなど身近にあるものを使って、ロケットを作ります。

ロケット胴体の長さや翼の形状、固定のしかたなど、どのようにすればまっすぐ良く飛ぶのかを考えながら作ります。

20 ストローと牛乳パックで 作るストロートンボ

竹トンボは、竹で羽根や軸を作りますが、その竹が、最近ではなかなか手に入りません。そこで牛乳パックを竹トンボの羽根に、ストローを軸にした簡単な竹トンボ作りに挑戦します。

21 小さな可愛い動物を 躍らせてみよう

回転運動を往復運動に変えたり往復運動を回転運動に変える仕組みの一つである、カム機構を使って、カム軸に取り付けられたものが、上下したり回ったりして、まるでダンスを踊っているような、仕組みを作ります。

22 吹いても落ちない 不思議なコマをつくろう

私たちの身近にある空気は、その存在(有るということ)を忘れがちですが、空気には重さや、粘性(流れ星や人工衛星が大気圏に突入するとどうなるのかな?)があります。このような性質を、実験や工作を通して体験します。

23 色が変わる 不思議なコマを作ろう

ベンハムのコマを使った実験や、色の3原色(赤:Red、緑:Green、青:Blue)を使ったコマの色が変わって見える現象を、紙のお皿で作ったコマを利用して体験します。

24 倒れない 不思議なコマを作ろう

このコマは、紙皿を本体に、竹串を軸にしたコマです。このコマを棒の先に乗せて回すと、回転が止まっても倒れずに静止します。なぜ倒れないのかを考え、作ったコマにシールを貼ったり、色や模様を付けて、自分だけのコマを作ってみませんか。



小学生向け発明工作教室

実施希望申込書

FAX >>>>> 087-867-9365

E-mail >>> info@kagawa-hatsumei.com

学校名 (団体名等)					
担当教師名 (代表者名)					
連絡先 (電話) ----- (E-mail)					
希望メニュー (第1・第2・第3希望を番号でご記入ください。)					
第1希望		第2希望		第3希望	
希望実施場所 (住所)					
希望時期	年	月	日	頃	
希望時間帯	:	~	:		
希望児童数		年生			名
その他連絡事項					